

第73次印旛地区教育研究集会 安全教育研究部紙上提案資料

令和5年8月22日(火) 富里中央公民館

富里市立富里南小学校 徳山敬明 石井百香

1 研究主題

全ての職員が連携して迅速に対応できる学校安全の取組
～『学校安全の手引き』に沿った『見える化』の構築～
(キーワード) 連携、迅速に対応、学校安全の手引き、見える化

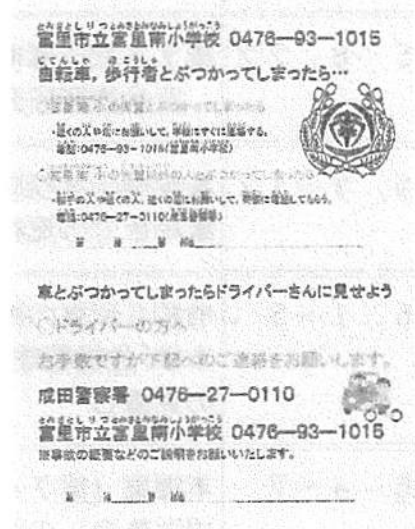
2 主題設定の理由

学校で起こるトラブルは多岐にわたる。どのトラブルも迅速に対応・解決できなくては子どもたちが安全・安心な学校生活を送ることができない。トラブルが起こった際にどれだけの確な対応を迅速に行えるかが重要になってくる。管理職や対応している一部の職員だけでなく、全職員がトラブルの内容と対応の状況等の情報を共有し協力体制がつかれるかが重要になってくる。そのためには、全ての情報が一目でわかるようになっていなければならない。『見える化』を図ることで、情報が全職員で共有でき、誤った対応や対応の遅れ、思い込みでの行動を防ぐことができるようになると思われる。

これらのことから、研究主題「全ての職員が連携して迅速に対応できる学校安全の取組」～『学校安全の手引き』に沿った『見える化』の構築～を設定した。

3 現状(本校の取組)

- ① トラブル発生・報告後直ちに、職員室の前面黒板にホワイトボードシートを貼り、状況や対応を時系列で記録して、『見える化』を図っている。
- ② 学級・学年で発生した問題や相談案件においては、担任や学年内だけで対応せず、必ず管理職・生徒指導主任・安全主任等へ報告し組織的に対応している。
- ③ 適切な対応を取るための「危機管理対応マニュアル」を作成し改善を図る。
- ④ 災害時避難後の児童の人数確認を確実にを行うための、「人数確認テンプレート」を作成し、確実かつ迅速に人数確認を行い、行方不明者の有無を把握できるようにしている。
- ⑤ 登下校時、万が一の事故に備え、事故に遭ったときや起こしてしまったときに使用する『すぐ見せるカード』を携帯させている。
- ⑥ 安全な自転車通学(4年生以上)のために、自転車整備点検や安全教室、必要に応じた安全指導を行っている。



4 研究の方法

- ① 危機管理対応マニュアルの見直し『見える化』
- ② 『学校安全の手引き』と本校マニュアルとの関連付け
- ③ 避難訓練での実証確認
- ④ マニュアル作成時の、職員へのフィードバック方法

5 本提案（R 6. 8）までのスケジュール

年・月	内 容	備 考
5. 4	令和6年度安全教育部会提案校に決定	R 5. 8に紙上提案
5. 4. 28 5. 5. 8	『「発生時の一報から終結までの流れ」について』收受	北総教育事務所指導室長からの事務連絡
5. 5	研究主題の方向性決め	現状の取組を整理することと、『学校安全の手引き』の活用について考える
5. 6. 22	研究主題の提出	部会担当者へ研究主題を提出
5. 7～8	既存資料の読み込み、整理	令和5年度富里南小学校教育計画提案 学校安全の手引き
5. 7～8	本校「危機管理対応マニュアル」と「学校安全の手引き」との関連付け	
5. 8. 22	第73次印旛地区教育研究集会 安全教育研究部	紙上提案
5. 9～12	富里南小学校版『事故一報から集結までの流れ』作成	北総教育事務所版のレイアウトを参考にし、富里南小学校版を作成する。
6. 1～3	令和5年度の取組を整理する 本校「危機管理対応マニュアル」の見直し	
6. 4～7	本提案（第74次印旛地区教育研究集会）の準備	提案資料作成